

湖東小学校だより

令和7年11月7日（金）

文責 服部 大輔

全国学力・学習状況調査の結果から

4月に全国一斉に実施された全国学力・学習状況調査の結果が届きました。調査内容は、主として国語・算数、理科、生活習慣や学習環境等に関するものです。今後の学習指導や学力向上、学習状況の改善に活かしていくため、その結果を分析し、職員全体で共有し、これまでの取り組みの検証と、その後の改善策等について検討してきました。実施したのは6年生ですが、本校の全体としての傾向と重なる部分があります。結果の概略と、今後の取り組みについてご報告いたします。

I 学力・学習状況調査結果

【学力調査全体結果】

○全国や県平均を上回る教科・領域もありました。全体的にはほぼ全国平均といえます。

○記述式問題で、正答率が下がる傾向があります。

国語



の成果と課題

- 知識及び技能において、「我が国の言語文化に関する事項」では、全国平均を大きく上回り、学習の成果が現れています。
- 思考力・判断力・表現力等において、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」は概ね全国平均と同様の力をつけています。
- 「漢字を文の中で正しく使うことができる」という課題がありました。
- 「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができる」とについては、平均正答率が低い傾向が見られました。問われている条件を把握し、適切に解答する経験が不足していたと考えられます。

算数



の成果と課題

- データの活用領域において、「目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する」問題は正答率が大変高かったです。日頃の取り組みの成果であると思います。
- 基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述できるかどうかを見る問題は、全国平均を大きく上回り、無回答もいませんでした。図形の基本的な性質を理解し、考え、活用する力がついていることがわかります。
- 「棒グラフから、項目間の関係を読み取る」「簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶ」問題は、正答率が低い傾向にありました。
- 知識及び技能においては小数の加法について、やや理解が不十分な様子が見受けられました。

理 科



の成果と課題

- 知識及び技能においては、どの単元においても概ね全国平均と同様の力をつけています。
- 生命を柱にする領域において、発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見いだし、記述で表現する問題について、全国平均より上回りました。
- 思考力・判断力・表現力等を観点にした問題において、全体的に正答率が低い傾向が見られました。問題を解決するまでの道筋を考え、根拠のある予想や仮説を発想していく学びをさらに積み重ねていく必要があると思われます。

【児童質問紙から見える本校児童の傾向】

- 読書に関する数値が高い結果となりました。茅野市全体での取り組みの成果であると捉えます。今後、より図書館教育を充実させ、心とことばを育てる教育を推進していきたいと思います。
- 「人が困っているときに、進んで助けていますか」の問い合わせに対し、「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」に回答した子どもは100%でした。また、「人の役にたてる人間になりたい」と回答した子も大変多くいました。学校教育目標の一つ「思いやる子」に迫るため、授業や行事、児童会活動などを通して、心優しい子を育成していきたいと思います。
- 家庭での学習習慣(学習時間)があまり定着していないようです。平日の0時間と含む1時間未満の割合は全国平均より22%多い結果となりました。家庭学習の取り組み方を支援していきたいと思います。

2 今後の取り組み

【学校では】

- 子どもの理解に合わせた対話的な授業づくりに力を入れます。一人でじっくり考えたり、友達と考えを聞きあつたりする時間を持ち、引き続き子どもたちの考える力を養うよう努めます。自分の考えを説明したり、友達の多様な考えに触れたりして、学びを深められるようペアやグループ全体での対話の機会をさらに増やします。また考えたり発想したりしたことを絵や図、文章に表わし発表する場面を設定します。タブレットも有効活用していきます
- 教科横断的な学習をより一層充実させ、学習と生活をつなげます。学習内容と生活のつながりを考えながら、子どもたちが実感を伴って理解できる教材の工夫に努めます。今後も学習に向かう子どもの意欲が高まり目的意識がもてるよう、生活と関連付けた必然性や必要感のある場面を設定します。また、各教科の学習を他の教科と結び付けて使ったり考えたりできる場面を設けて行きます。

【ご家庭でも】

- 質問紙からテレビやゲームスマートに触れる時間が長い傾向にありました。睡眠時間もしっかりと確保することや、ネットやゲームについて家庭での約束を守ることなど、学力向上の基礎となる基本的な生活習慣定着にご協力ください。
- 家庭での学習時間が不足している傾向が見られました。「がんばったね」等あたたかな声掛けをしていただき、家庭学習の習慣が身に付いていくよう、ご支援いただきたいと思います。